【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和5年9月28日(2023.9.28)

【公開番号】特開2022-103841(P2022-103841A)
【公開日】令和4年7月8日(2022.7.8)
【年通号数】公開公報(特許)2022-124
【出願番号】特願2020-218730(P2020-218730)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/175(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　2/175143
Ｂ４１Ｊ　2/175141
Ｂ４１Ｊ　2/175153
Ｂ４１Ｊ　2/175119

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月20日(2023.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液体を収容する液体収容袋と、前記液体収容袋内に配置されたスペーサー部材と、前記スペーサー部材に配置され、前記液体を導入する複数の液体導入部と、前記液体収容袋の一端部に固定され、液体吐出装置へ前記液体導入部から導入された液体を導出する液体導出部材と、前記液体導出部材と前記スペーサー部材とを連結する連結部材と、を備えた液体収容体であって、
前記連結部材は一部に低剛性部を有しており、前記スペーサー部材が前記低剛性部の周りに軸方向に回転することによって、複数の液体導入分の高さが変化することを特徴とする液体収容体。
【請求項２】
前記複数の液体導入部は、少なくとも第一液体導入部と第二液体導入部とを含み、前記液体収容袋に液体が収容されている状態において、前記第一液体導入部の位置は前記第二液体導入部の位置よりも高いことを特徴とする請求項１に記載の液体収容体。
【請求項３】
前記液体収容体は、前記液体吐出装置に装着されることで前記液体吐出装置に液体を供給し、
前記スペーサー部材は、前記液体収容袋に液体が収容されている状態において、前記複数の液体導入部が水平面に対して任意の傾きを形成している
ことを特徴とする請求項１または２に記載の液体収容体。
【請求項４】
前記複数の液体導入部は、液体導出部材が延在する方向と直行する方向である前記スペーサー部材の幅方向の両端にそれぞれ配置されている事を特徴とする請求項１乃至３のいずれか一項に記載の液体収容体。
【請求項５】
前記スペーサー部材の前記幅方向の両端の高さが、前記液体を初期充填状態で液体が収容されている前記液体収容袋の高さと同等であることを特徴とする請求項４に記載の液体

収容体。
【請求項６】
前記液体導出部材は、複数の前記液体導入部からの液体を合流させ、合流させた液体を前記液体吐出装置に供給することを特徴とする請求項１乃至５のいずれか一項に記載の液体収容体。
【請求項７】
前記液体収容袋は、沈降成分を有する液体を収容していることを特徴とする請求項１乃至６のいずれか一項に記載の液体収容体。
【請求項８】
液体を収容する液体収容袋と、前記液体収容袋内に配置されたスペーサー部材と、前記スペーサー部材に配置され、前記液体を導入する複数の液体導入部と、前記液体収容袋の一端部に固定され、液体吐出装置へ前記液体導入部から導入された液体を導出する液体導出部材と、を備えた液体収容体であって、
前記スペーサー部材には、その幅方向の両側に複数の低剛性部を有しており、前記複数の低剛性部の先端部分にはそれぞれ前記複数の液体導入部を備えている、
前記低剛性部は、前記スペーサー部材に対して角度θ１で接続されている、そして前記液体が消費されて前記液体収容袋がつぶれるにつれて角度θ１が角度θ２へと大きくなるように変形して前記複数の液体導入部の高さと向きが変位することを特徴とする液体収容体。
【請求項９】
前記低剛性部の先端部分の前記液体導入部は、その向きが前記低剛性部の変位に応じて前記液体収容袋の内側に向くように変位する、請求項８に記載の液体収容体。
【請求項１０】
前記低剛性部の先端部分の前記液体導入部は、その向きが前記低剛性部の変位に応じて前記液体収容袋の外側に向くように変位する、請求項８に記載の液体収容体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の一様態に係る液体収容体は、液体を収容する液体収容袋と、前記液体収容袋内に配置されたスペーサー部材と、前記スペーサー部材に配置され、前記液体を導入する複数の液体導入部と、前記液体収容袋の一端部に固定され、液体吐出装置へ前記液体導入部から導入された液体を導出する液体導出部材と、前記液体導出部材と前記スペーサー部材とを連結する連結部材と、を備えた液体収容体であって、前記連結部材は一部に低剛性部を有しており、前記スペーサー部材が前記低剛性部の周りに軸方向に回転することによって、複数の液体導入分の高さが変化することを特徴とする。